

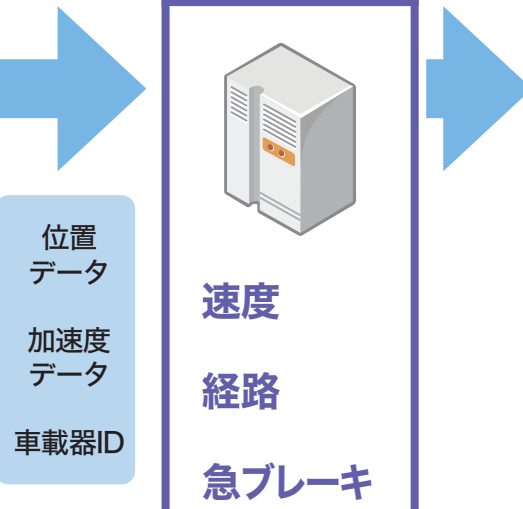
多様な運転支援

ETC2.0で車と道路が連携し
多彩なサービスを実現ETC
2.0

データ収集



データ作成



データ活用

渋滞対策
災害対策
交通安全対策
料金施策
物流支援

ETC2.0とは、有料道路等における料金収受に加えて、多彩なサービスを実現したシステムです。道路側のアンテナと車載器が高速大容量の双方向通信を行うことで、渋滞時の迂回ルート情報や安全運転に資する情報を提供します。さらに、ETC2.0により収集された車の走行経路や速度などの情報は、様々な道路政策に活用されています。

渋滞時



千葉方面の広域情報です。
宮野木ジャンクションまで、
アクアライン経由で 60 分ほ
ど、湾岸線経由で 90 分ほ
どかかります。

降雪時



名神 関ヶ原付近は現在、
雪が降っています。
注意して走行してください。

道路交通需要マネジメントの高度化を支援

高速道路の都心部の渋滞を緩和するため、経路情報がわかるETC2.0の特性を利用して、ETC2.0搭載車を対象とした弾力的な高速道路料金施策を実施しています。



ビッグデータを活用して危険箇所の交通安全対策を実施

ETC2.0は経路情報だけでなく、急ブレーキをした箇所や走行速度なども収集できます。これらのデータを活用することで、速度超過、急ブレーキ発生、抜け道等の潜在的な危険箇所を抽出し、効果的かつ効率的な交通安全対策の立案、実施が可能となります。



効果的、効率的な交通安全対策の立案・実施

走行速度を抑制する



凸部(ハンプ)



狭さく

進入口を入りにくくする



ライジングボラード

歩行者の空間を確保する



路肩のカラー舗装

災害時に通行実績を収集して提供し、被災地を支援

災害時にETC2.0搭載車等の通行実績を収集し、道路の通行可否情報を提供することで、被災地の避難や救援、物資輸送等を支援しています。



橋梁の流失により通行不能



熊本県道
4か月以上通行不能

土砂崩れによる通行止め



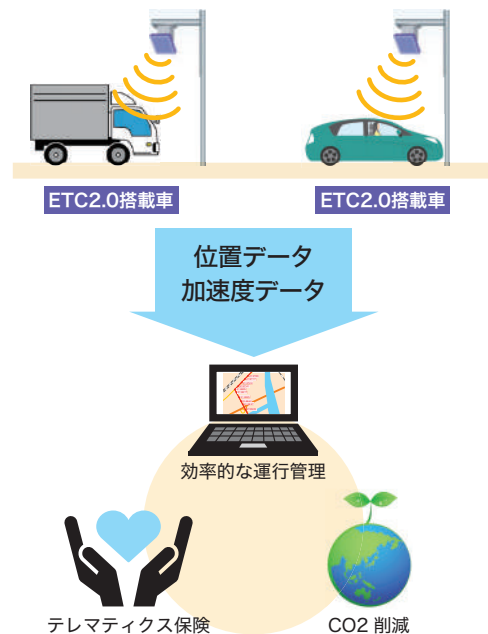
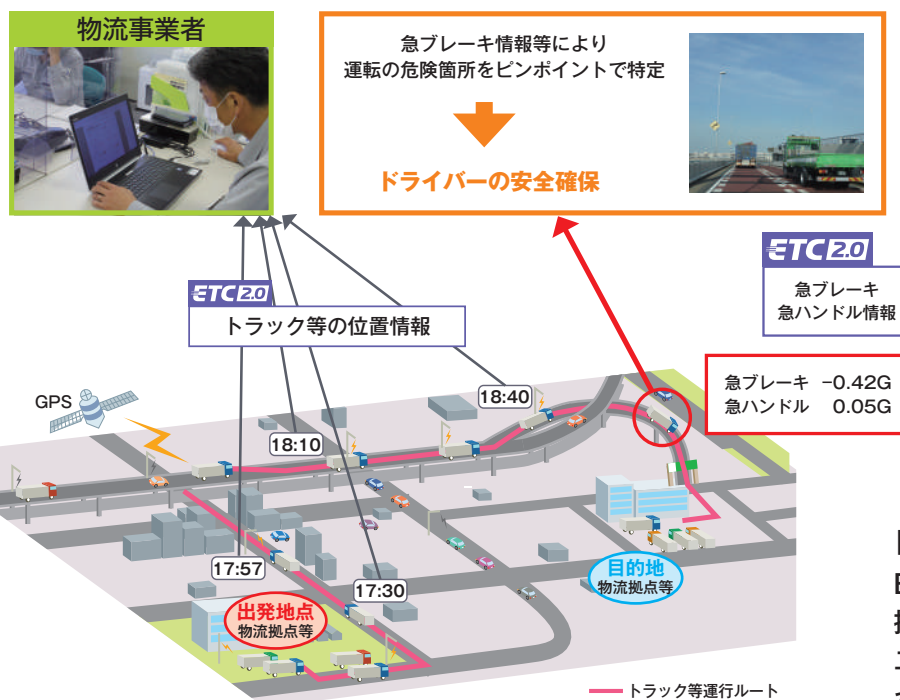
国道3号
14日間通行止め

物流の生産性を向上

新たなサービスへ活用が広がるETC2.0

車両運行管理支援サービス

ETC2.0で収集される車両の位置情報や走行経路等のデータを物流事業者へ提供し、配車計画や到着時刻の予測等に活用されています。



自動車保険やエコドライブ支援への活用

ETC2.0によりドライバーの運転特性などを把握することができるため、テレマティクス保険やエコドライブ支援など新たなサービスへ活用が広がっています。